

宿 岳 枝
合 丈 高
期 丈 協
冬 仙 獨

1961.12

地圖 市野瀨(五万分)

参加者

役務	氏名	学年	住所
先生	奥貫 晴弘		豊島区池袋3,1646.
	高製 富三郎		豊島区池袋38
現役 CL	假屋園 志雄	204	豊島区北沢 ⁽³²¹⁾⁴⁵²² 3-953
SL	駒井 康男	201	中川(651)5990 江戸川区上篠崎町1426
食糧	山田 幸弘	201	本間(941)4419 文京区高田老松町26
副	堀口 修	101	(971)5874 豊島区西巣鴨1の3035
装備	小林 喜一	204	(807)1587 荒川区南十住町6の202
副	岸田 活昭	105	(025)6487 葛川市紫崎町2の107
記録	新井 徹郎	204	(982)6846 豊島区巣鴨5の1082,田口方.
OB	打矢 之威		(341)2022 新宿区戸塚町1の214

略図



行程

- 12月23日 上野野籠 汽車 伊那北 (辰野経由) (泊) 新宿
- 12月24日 伊那北駅 11:20 戸台 4時間 赤沢原 3時間 北沢峠 20分 キャンプサイト。(三白)
- 12月25日 B.C. 20分 北沢峠 2.5時間 又沢尾根分岐 3時間 仙丈岳山頂 3.5時間 B.C. (三白)
- 12月?日 B.C. 20分 北沢峠 2時間 赤沢原 3時間 戸台 11:20 伊那北 12:30 上野野籠 新宿

※ 定滞日 は3日間とする。

参加者

役務	氏名	学年	住所
先生	興貫 晴弘		豊島区池袋3,1646.
	高製 富三郎		豊島区池袋38
現役			
CL	假屋園 恭雄	204	豊島区北沢 (321)4522 3-953
SL	駒井 康男	201	中川(651)5990 江戸川区上篠崎町1426
食糧	山田 幸弘	201	本間(941)4419 文京区高田老松町26
副	堀口 修	101	(971)5874 豊島区西巣鴨1の3035
装備	小林 喜一	204	(807)1587 荒川区南十住町6の202
副	岸田 浩昭	105	(025)6487 立川市紫崎町2の107
記録	新井 徹郎	204	(982)6896 豊島区巣鴨5の1082,旧口方.
OB	打矢 之威		(341)2022 新宿区戸塚町10214

合宿メモ

場所 南アルプス、仙丈岳

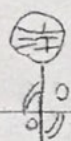
日時 12月23日～29日(26日)

出発時間 23日15時30分・松本行(新宿発)1番線

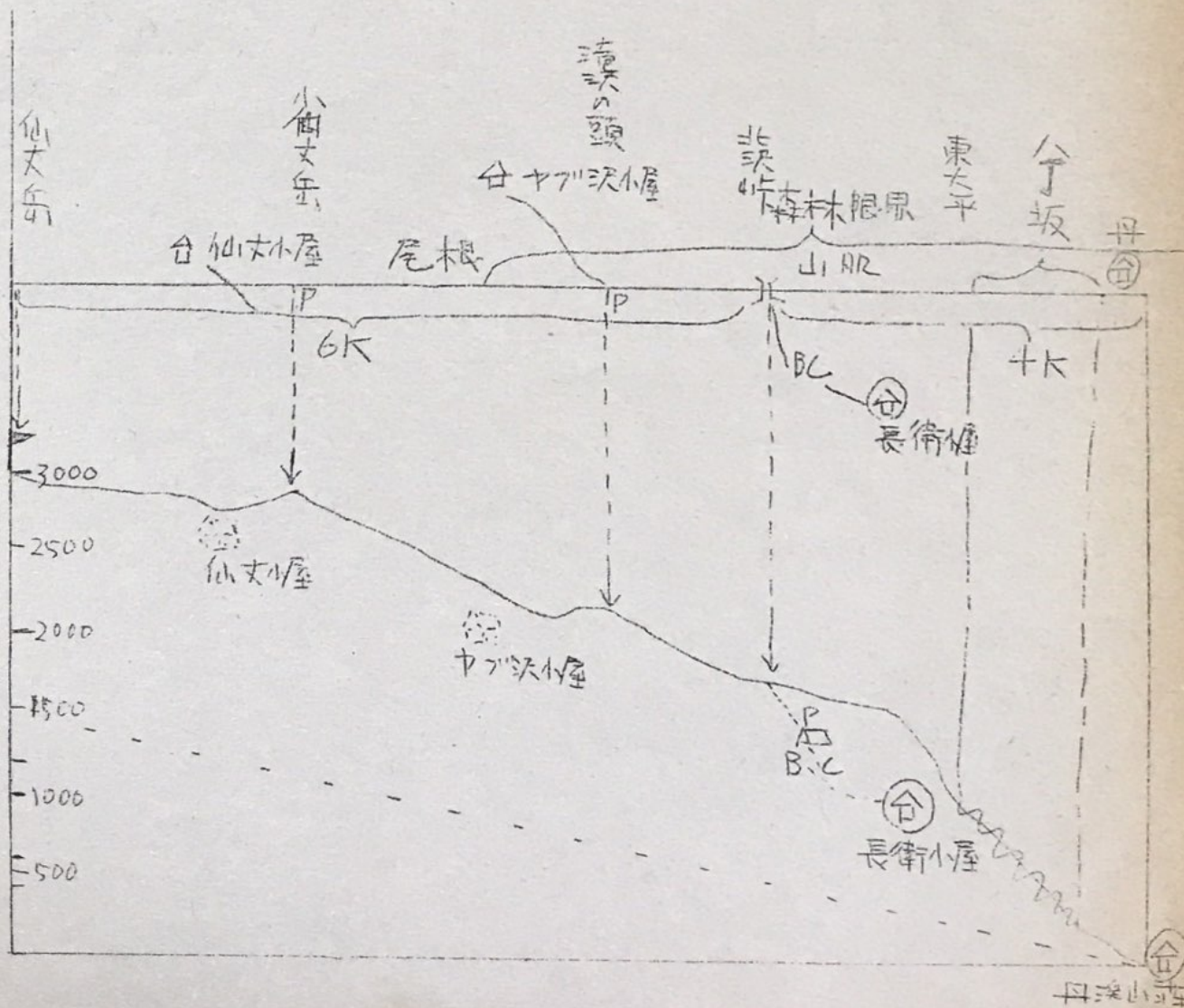
費用
 食糧費 1500円
 汽車賃 片道 470円 (新～伊) 学割)
 ハス代 " 105円 (十荷物代20円)

地図 市野三類 (五万分)

24時の朝食まで個人で精参。



地形図



コース案内

短時日に南アルプスの冬山登山を志す者にとって
仙丈岳はまず第一にあげられるべき山の一つであらう
天候にさえ恵まれれば東京からわずか三日で
それほどの危険もなく三千メートルの冬山が楽しめる
たからよきに冬山初級者に守るべき山である。事実
最近この山は冬も夏におとよなりのほどの登山者でにぎ
わつてゐる

23日新宿発15時30分、松本行に乗り辰野で
飯田線に乗り換へれば23時ごろには登山口である
伊弉比駅に着く。23日はこの伊弉比駅で寝ることにする
24日始発6時15分、~~の~~国鉄バスで戸台まで行く
戸台でバスを降りたら部落には入りず、^戸戸台川の明るい
川原をたどる。始めは左側(右岸)をブルトーガーが通つた
跡を行く。丹溪山荘の連絡所の前で丸木橋を渡つて
右側を又ブルトーガーの跡をたどる。朽木小屋跡を過ぎ
ぎるころから戸台川はしたりに細くなり山の深まりを感
じさせていく。こころ辺から駒ヶ岳のなかがめはまことに
すばらしいやがて赤河原である。ここで道は二分する。左
に行けば駒ヶ岳六合小屋へ通じるめがけ道は右であ
る。この少し先に丹溪山荘がある。赤河原から北沢峠
への急坂をハ丁坂というが道は一本のヤブ沢に
入り、それから左手の斜面をハ丁坂に取りつゝよう
になる

ハ丁坂は樹林の中ウジグサグ道で降雪つ多リとき
はなやまされるが昨今のように登山者が多いと雪も固
まつている、この坂を登り終った平な台地が東大平で
ある、東大平から登りはまた「続くかたいた時間をかける
事もなく北沢峠に立つ事が出来る、峠から約三十分の
長衛小屋には冬でも小屋番がいて面倒を見てくれる
この日は峠より約100m(20分)ぐらゝ長衛小屋側に下
つた所にベースキャンプを張る北沢をベースとして
仙丈岳へ登るにはヤブ沢ルートと小仙丈岳ルートがある
いずれも前日采た道を北沢峠までもとめる。峠から
すぐ急な登山が始まる、いくつか突起を越えると
滝沢の頭でこの地帯でヤブ沢経由の道と尾根通いに
小仙丈岳へ向かう道が分れるヤブ沢ルートは小仙丈岳
ルートに比べると距離的には短かいが積雪量かほ
るかに多く、加えてカールからの最後の頂上への登
りはかなりきびしい。したがって我々は小仙丈岳
ルートを選ぶ事にしよう。

尾根ルートは分岐点から森林限界までが最大雪地
帯で登頂の時間はこの間のラッセルの難易にまつ
左右されるもトレールがなければ相当の時間の
消費を考へなければならぬ、針葉樹林が尽きると
いよいよアイゼンの使用となる(1月初めたとアイ
ゼンは使わなければならぬと云うてゐる)である)

モフともその時々々の雪の状況によりワカニの
 併用する場合がある。小仙丈岳は頂上を通過して
 より右手を巻いた方が易である。稜線は大カール
 を抱いて大きく彎曲しておりこのカールを貝下しながら
 小仙丈岳のすばらしい倉頂をつづける小こなた
 から雪庇が小仙丈岳側に生ずるので注意さ
 る。また頂上手前のセークはいよいよクラスト
 して居るので足もとに気を付けるようにする
 小仙丈岳(3032メートル)の頂は三方に大きな
 尾根が放射して居るので稜元の場合は方
 向指示盤でよく確かめること帰りは再び同
 道を歩く。

以上の事を良くおぼえておき
 たいと ためよ！

装 備 表 --- 個人

上着(ジャンパー)	1
オープンシャツ(フタノガ良い、木綿でも可)	2
長ズボン (純毛)	2
アンダーシャツ	2
モメリヤスシャツ(上、下)	1
ズボン下 (モモセキ)	2
パンツ	3 枚以上
セーター (厚手)	1

ボウシーショウチメボウ(耳が隠れるもの)	1
目出帽	1
手袋(毛 or 皮, 二本指 or 五本指でも可)	4
靴下(厚物 - 毛 or パイル)	3組以上
(薄物 - 毛 or ナイロン)	4枚以上
ゴータグ	1
マツケ	1
オーバーズボン	1
オーバーシユウス	1
オーバーテアグロ	1
テントシユウス	1
腹巻	1
マフラ(毛 or 絹)	1
尻当	1
シエラフ(温たかりもの)	1
シエラフカバー	1
エアーマツト	1
登山靴	1
ピツケル	1
ピツケルハント(ナイロン)	2組
アイゼン	1
アイゼンハント(ナイロンが表)	2組
ワカン	1
紐引 { (雪崩綱) — 原色のもの (オレンジ色)	10m
{ (フツウのもの)	20m
キスリング(チヨウトク大)	1
サブ	1
スキーストック	1
ローソク	10本
ランタン	1

地図 (市野瀬)

1枚

磁石

1

懐中電灯 (ヘッドライトが良い)

1

了備 (電池 4個; 電球 2個)

庫当に

マフケのライター

多数

キシ玉

30枚以上

古新聞

1

カン切

食器 (武器) 一式

筆記用具 (手帳、鉛筆)

各々 ↓

保革油 (小型)

1

手拭

4本

夕札

1本

ナイフ

1

小物入 (針、糸、缶)

1

時計

1

テルモス

1

カイロ

1

(履)

20本入 1位

薬セタミン剤、持薬等

ポリエチレン袋

針金

タワシ (雪をほらう時使用. アラミでも可)

セシヨウ食

趣友品

その他入用と思うもの